カトリック教報

カトリック長崎大司教区
広報委員会
〒852－8113
長崎市上野町10－34
カトリックセンター内
TEL 095－843－3869
FAX 095－843－3417
振替口座 01880－5－2699
発行人
山田良秋
印刷所
株式会社 インテックス

祈りの意向（祈祷の使徒）

- 教皇　国家としても、また市民としても、武器の使用を差し控え、平和と非暴力を推進していくことができるように
- 日本　カトリック教育のすばらしさを伝えるものとなるように

2023年 ご復活の喜びの手紙

「おはよう」

大司教 ペトロ 中村 倫明

子どもたち、青年の皆さん、大人の皆さま、イエスさまのご復活おめでとうございます。

（質問）復活のイエスさまが一番初めに話された言葉は何？

のっけから申し訳ございません。イエスさまがご復活なされて、一番初めに話された言葉はどんな言葉でしたか？

マタイの福音書に記してあります。どうぞ聖書を開いて確かめてみてください。

復活されたイエスさまが、ご自分のことを最初に示されたのは、女性の方々にでした。それは、女性たちが、安息日が終わるとすぐにイエスさまのご遺体のところに向かったからかもしれません。いくつかの聖書によれば、「香料と香油を塗るために」（マルコ、ルカ）とあります。

ところが、イエスさまは墓の中にはおいでになりませんでした。復活なさったことを天使から知らされた女性たちは、そのことを弟子たちに伝えに向かう時に、イエスさまは女性たちに現われて、「おはよう」と声をかけてくださいました（マタイ28・9参照）。イエスさまが復活されて、最初に話された言葉は「おはよう」です。

確かに、別の福音書（ヨハネ福音書）では、イエスさまのご遺体が墓にないことを悲しんでいるマグダラのマリアに「なぜ泣いているのか」（ヨハネ20・13）という言葉をかけておられて、この言葉がご復活後のイエスさまの一番初めの言葉として登場しています。

この言葉にも、わたしたちに対するイエスさまの深いいつくしみを感じますが、より「おはよう」という言葉にはそれを感じますし、やはり一番初めの言葉は「おはよう」ではなかったかと思います。このことは、その後、弟子たちにイエスさまがご出現なされた時におっしゃった言葉からも、想像できそうです。

イエスさまが弟子たちにおっしゃった言葉

弟子たちは、イエスさまを十字架に付けたユダヤ人を恐れて、自分たちのいる家の戸に鍵をかけ隠れていました。そこにイエスさまが現れておっしゃいます。「あなたがたに平和があるように」（ヨハネ20・19、26、ルカ24・36）

この時にイエスさまが用いられたヘブライ語は「シャローム」ではなかったかと思われます。シャロームは、文字通りには「平和」を意味する言葉ですが、人々は「おはよう」とか「こんにちは」などのあいさつとして使っている言葉です。ですから、やはり、「おはよう」という言葉を、復活後のイエスさまは、一番初めに語っておられたのではないでしょうか。

わたしたちが普段に使う言葉

わたしは今年の新年号でお願いしました。「声をかけていこう」と。

声をかけておられますか。教会の行き帰りに、出会う人たちに声をかけていますか。その中でも、「おはよう」という言葉は、出会う時の普段の一番初めのあいさつの言葉です。この普段のあいさつを大切に丁寧にしているでしょうか。出会う人を無視したり、無愛想で笑顔でなかったりしていませんか。ちゃんとわたしたちは基本的なあいさつや対応ができているでしょうか。

聖書の「おはよう」

面白いことにこの普段の基本的な「おはよう」という言葉は、聖書の中では、ご復活の場面にしか登場しません。もちろん、普段の言葉ですので、ことさら記述することもなかったでしょう。ならば、ご復活の時の特別な記述の「おはよう」には特別の含みがあるはずです。

英語では「グッドモーニング good morning」（良い朝）。「良い朝ですね。良い日になりますように」という思いがあるのでしょう。雨が降っても「グッドモーニング」です。そして、ご復活の時の「おはよう」は、まさに「おはよう」の中の「おはよう」です。

だってイエスさまは3日前に亡くなって、墓に葬られていました。「おはよう」と言える朝が来るなんてありえない「おはよう」なんです。あるいは、もしそこに言葉が存在するなら、「おはよう」よりも「うらめしや」「おれを見捨てたな」「呪い殺してやる」の言葉が人間の世界かもしれません。でも復活の世界は、何もなかったかのように、いつものように「おはよう」で始まっていきます。

以前、聖フランシスコ病院の玄関に立つ機会がありました。ある日、知っている方がやってきて、笑顔で「おはようございます」と声をかけてもらいました。「何事ですか？」と尋ねると、「おふくろが危篤で呼び出されました」。わたしは言葉が出ませんでした。次の日、「おはようございます」と同じ方でした。「どうでしたか」勇気を出して尋ねました。「まだ頑張っています」うれしかったです。3日目、同じ方が「おはようございます。お世話になりました。今から葬儀の準備です。お祈りください」。悲しいのにつらいはずなのに、感謝を知っている人の「おはよう」でした。

ならば、復活の主に出会ったなら、どんな時だって「おはよう」です。苦しくつらい時も悲しい時も、過ちや罪を犯しても、どんな時だって、復活された主はともにおられます。

あらためてお願いいたします。「主はともにおられます」「主の平和がありますように」の思いを込めての、わたしたちの「おはよう」の声かけを復活させていきましょう。

子どもたちへ「オッハー！」だいぶふるいかなぁ

ほしかげ

車が汚れていたので、洗車をしに行った。自分の心が見抜かれたのか、たくさんの車がぞろぞろと立ち並んで洗車を待っていた。特に雨が降った翌日はより長く時間がかかりそうで何度もやめたこともある。マーフィーの法則に巻き込まれていてうんざりしているその時に、ふと突然ある考えが浮かんだ▲洗車台の前に櫛比（しっぴ）している車の様子が、まるで待降節、四旬節にゆるしの秘跡を受けに並んでいる信者さんのように思われたのだ▲洗車をする前には必ずどれほど自分の車が汚れているのかチェックするのが必要であるように、ゆるしの秘跡を受ける前にも自分の良心に照らして心の隅々のところまで見るべきなのだ。その上、洗車をしてもまた車に汚れがつくことを分かっているにもかかわらず定期的に洗車をする理由は、きれいな車に乗った方が気持ちいいからではないか。同じだ。少しでもきれいな心で神様の前で礼拝するためであると。不完全な人間である私たちがまた罪を犯してしまう存在であってもゆるしを願っているのは、きれいな心で神様のところへ疾走したいからではないか▲車でさえ定期的に洗車をするのに、私たちの心を定期的に洗わない理由がないだろう。そして、雨が車の汚れを落としてくれるように、神様は人間の生活に入り込んで、私たちの心を洗ってくださっているのを忘れないように。（南）

シノドス…世界代表司教会議

教区シノドスとシノドス第16回通常総会

２度の機会を得て、提言推進をともに目指す

兄弟姉妹のように生きる!!

教区シノドス担当司祭　岡 秋美

はじめに少しだけわたしたちの紹介をさせていただきます。わたしが大神学校8年生・助祭であった時、谷脇誠一郎神父様は1年生、いわば長男坊と八男坊という関係でした。そしてこのたび、シノドス担当司祭としてこの2人が任命されました。「シノドス」と「谷脇師」と「わたし」。すぐに頭に浮かんだのは聖書の『マルタとマリア』の姉妹の物語です。「主の足もとに座って、その話に聞き入っていた」マリア。「いろいろもてなしのために忙しく立ち働いていた」マルタ。今の教会共同体に必要な自己確立と社会奉仕（おもてなし）の姿がそこにあるかと思います。マリア担当の谷脇とマルタ担当の岡です。

教区シノドス担当・岡 秋美師㊧と副担当・谷脇誠一郎師

新しくなるために

「新しくなる」。教会が与える恵みの特徴の一つです。わたしたちはまさに新しくなるために、最近2度のシノドス（2014～15年長崎教区シノドス、2021～24年シノドス第16回通常総会）において司祭、修道者、信徒の皆様の声を聴きながら自己を見つめ直し、新たな歩みを始めることができるよう努めてきました。しかし2回目のシノドスを進める中においても、なかなか思うように前に進めません。そこでシノドス提言をさらに推進させていくために、長崎教区はその推進の実行役として今ある＊諸委員会に委ねることにしました。なぜならそれぞれの委員会は今すでに活動をしているものであり、それを取りまとめる「長」もいるからです。わたしたちシノドス担当司祭はこの諸委員会とともに歩みます。最初のシノドス以来、本来の考えとしては、諸委員会の活動はすべて、シノドス提言の推進のためのものです。区別はありません。

『マルタとマリア』この姉妹の姿に、必要とされる教会の新しい姿、自己確立と教会内外への奉仕（おもてなし）の姿があります。シノドス提言の三本の柱、「小共同体づくり」と「カテキスタ養成」は『自己確立のマリア』の姿の中に、「ミゼリコルディア」は『おもてなしのマルタ』の姿の中にあり、引き続き推進されていきます。またこの三本柱だけでなく、バイキングスタイルでいろんな提案をしていこうと思います。「誰にでも」「今すぐに」「お金をかけず」にできることを。取りあえずはわたしたちシノドス担当司祭からの提案メニューを載せていただきました（後述）。3月末までには各委員会からの提案メニューが付け加えられます。それからその全メニューを9つのシノドス提言ごとに、またレシピをつくる委員会ごとに振り分けていきます。わたしたちの提案以外にも、誰でも自由にそのメニューを付け加えることができるかと考えています。

（ここからは2月14日委員長会議でお伝えした内容を掲載します）

1 シノドス推進にあたって

最近、2度のシノドスによって、日本の教会、長崎教区、地区、小教区としての共同体、または司教、司祭、修道者、信徒としての個々の今の姿を見つめ直す機会を得ることができた。

2度のシノドスの機会に、アンケートを通してさまざまな意見を寄せていただいた。声を発する者も多くいるが、声を発せず黙っている者も多くいる。今あるもの、今していることを、黙って守ろうとしている。頑張っている、よくやっている教会も、司祭、修道者、信徒もたくさんいることを忘れてはならない。それも認めなければならない。褒めなければならない。

その中で、個人においても共同体においても、足りないところ、欠けているところ、工夫した方がいいところ、以前行っていたことでまた始めた方がいいこと、新たに始めた方がいいこと、また今は止めた方がいいことなどを探求し提案していく。

委員長会議、各委員会で1回目のシノドスで出された9つの提言を見直し、委員会の活動に生かしていくようにする。各委員会はその提言をもとに、教区、地区、小教区、小教区の諸活動グループ、信徒個人に、自己見直しや〝もてなし〟のための提案をし、その方法も示す。まずは委員会自体の自己確立。そして力を得て、もてなしへ。

みことばに生きる

各共同体（教区、地区、小教区、諸委員会、諸活動グループ、修道会、修道院など）はみことばを掲げ、それに生き、目標とする。2人以上の活動からみことばを掲げる。会議や集まりなどで、自己紹介やあいさつをするときには、みことばから始めて、「『（みことば）』の○○委員会ですが」などと今の状況を踏まえながら話し出す。

聖書を開いての分かち合いが望ましいが、聖書を開かなくても、看板のようにみことばを掲げていれば、その共同体・グループが会議などで集まるだけで、また活動するだけで、そのみことばが見られて自然と分かち合いになる。

個人が活動する時には、共同体の一員として行うようにする。その活動をしている時、またその活動をしていない時でも、所属している共同体・グループのみことばが後押しをしてくれ、勇気を与え、助けてくれる。所属が多ければそれだけみことばの力、恵みを得ることができる。仲間からも力を得る。

2 シノドスバイキング（案）

これまでの教区シノドス提言推進は、3つのコース料理しかないレストランのようなものだったかもしれない。提供されるその料理は一つ一つは大変すばらしく、立派なものである。でも食べる方からしたら果たしてどうなのか…。またそれを食するだけでなく、今度はそれを自分たちで作って他の人にもてなしなさい、と言っているような…。そこで提案したいのが、バイキングスタイルである。

題して、『シノドスバイキング』―レシピも教えますよ!!」

その中心である委員長会議の中で、とにかく提案を出し合って、いろんな料理を出していくということである。そしてその作り方、方法も。自己を確立するために、そして、もてなしができるようになるために。教区に、地区に、小教区に、お互いの教区委員会に、小教区委員会に、諸活動グループに対して、司祭、修道者、信徒個人に対して。委員会やグループがあっても、何をしていいかまたその方法が分からなかったり、また逆にそんなグループが今はなくてもできることを見いだせるかもしれないし。

その第一が、「みことばを掲げること」である。以下、他のメニュー。

◎主任司祭による月に一度のみことばの分かち合い、勉強会、祈る会（センター、大司教館、神学校、修道院など、司祭がいる職場でも）
◎そのようなみことばの分かち合いや聖歌の練習、聖歌隊の勧誘などのポスターを教会の外へ向けても掲示し、未洗者の方へアピール
◎今月のみことばを大きく書き出し、教会内外へ向けて掲示
◎年配者向けへの行事、聖歌隊の集い、グランドゴルフ大会、ボッチャ大会などの開催
◎子どものドッヂビー大会や聖歌の集いへの未洗者の子どもたちの参加
◎子どもの聖歌隊の集い、侍者の集い
◎教会外に向けての花の栽培（花壇、プランター）
◎教会の近くに畑を借りての花の栽培（花畑づくり）
◎ミサ前にみんなで福音を読む
◎毎月9日の11時2分に平和のために祈る
◎信仰教育の見る資料作り
◎教会学校の授業時間数にあった優先科目（!?）を選び、その関わる聖書の箇所、資料などの提示
◎セブンステップ
◎地区集会
◎家庭でのミサ
◎聖書読み会
◎家庭での新しい祈りの方法
◎家庭でもみことばを掲げる
◎新しい聖歌の紹介、教え
◎侍者の前日からのお泊まり
◎地区での月1回の半日黙想会とゆるしの秘跡
◎伝統料理やお祝い日の料理の料理教室（司祭も習う）
◎地区や近隣の教会の子どもたち同士の交流
◎壮年会のスポーツ交流会などの開催
◎叙階式や選任式、誓願式などでの子どもたちの典礼奉仕（召命のきっかけに）
◎毎週のお知らせに短いカテキズムやその日の典礼の説明などを載せる
◎一人暮らしのお年寄りの訪問
◎お母さんたちの集い（子育てのことなどを分かち合う）
◎障害者の方々との交流
◎聖母行列など小教区が長年大切にしてきた信心業の再興
◎司祭が時々他の小教区のミサを担当する
◎ウオーキング＋巡礼
◎近隣のカトリック幼稚園、保育園、学校などとの交流
◎地域や社会のボランティア活動などに教会のグループで参加する
◎分かち合いボックス（日用品など）
◎神学校や志願院でのお泊まり会
◎神学生の小教区での土日のお泊まり
◎教区のホームページに小教区での行事や記念ミサ開催などのお知らせを載せる
◎教区のホームページで地区や小教区での行事をすぐに見られるようにする
◎子どもたちの司教様訪問

※食べ過ぎ、詰め過ぎは厳禁!!
腹八分目が最適!!

＊長崎教区には11の委員会がある。信仰教育、青少年、生涯養成（以上、信仰養成部）。平和推進、人権、福祉、エキュメニズム・諸宗教（以上、福音化推進部）。家庭、召命、典礼、広報。

主の平安
株式会社 五島式典社（斎場）五島中央会館 奈留会館
代表取締役　ヨゼフ　浦　昭
24時間営業
五島市上大津町 1385 番地 1　TEL (0959) 74－5551
FAX (0959) 74－5552
五島市奈留町浦 1899－1　TEL (0959) 64－3101
FAX (0959) 64－3102

空き家を減らし、街の灯を灯す
行政書士
ヨゼフ 鼻崎 貴広
宅地建物取引士
管理業務主任者
賃貸不動産経営管理士

浜電気グループ　はなさき貴広事務所
〒850-0853 長崎市浜町2番7号 TEL:095-827-8400/FAX:095-824-4150

白蟻調査無料・駆除予防工事5ケ年保証付
白蟻防除施工士
大田白蟻研究所
代表者　大島和彦
（〒850-0811）長崎市矢の平1丁目14番15号
☎長崎 095－822－8436
FAX 095－822－8488

クルシリヨ 再開のお知らせ

新型コロナの影響で開催ができなかったクルシリヨ（信徒練成会）が、今年の5月3日（水）～6日（土）の日程で開催されることになりました。1966年5月に長崎での開催が始まったクルシリヨでは、これまでに累計約4500人のクルシリスタが誕生しています。

このたび、これまで指導していただいた中村倫明大司教様に代わって、新しく早岐教会の一ノ瀬輝幸神父様が指導してくださることになりました。また長崎での会場もお告げのマリア修道会様のご厚意により、長崎市小江原の本部をクルシリヨ開催のために提供していただくことになりました。

大司教様や各小教区の神父様方、世話役の皆様方、またそれぞれの置かれている場所で活躍されている先輩クルシリスタの皆様方、多くの皆様方に支えられてクルシリヨが再スタートします。

第143回クルシリヨ

【日　程】5月3日（水）～6日（土）
【会　場】お告げのマリア修道会本部
【問合先】荒木明美
TEL 070-2379-3022
※詳しくは各小教区に配布する案内をご確認ください。

新しく始まるクルシリヨに多くの参加者を送っていただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

クルシリヨ本部事務局　西尾 雅俊

みつあみの会主催

一日の祈りの集い

コロナウイルス感染予防のため2020年から休止していた「一日の祈りの集い」は、2023年5月から再開いたします。神と静かに過ごす時を持ちたい方はぜひご参加ください。開催教会にはどなたでも参加できます。

【申し込み方法】
開催日の1週間前までに下記①～③のいずれかでお申し込みください。申込書が必要な方はお送りいたします。各教会にもポスターと申込書を配付いたします。

（担当）純心聖母会 Sr.山田房恵
①郵送
〒852-8142
長崎市三ツ山町415
②ファックス
095-843-7570
③メール
norasho@outlook.jp

定員15人。参加費500円。開催教会（会場）は次の通り。

2023年
・5月5日(金)本河内教会
・7月2日(日)福江教会
・9月2日(土)城山教会
・11月3日(金)田平教会
2024年
・1月25日(木)三浦町教会

人事異動・任命

（　）内は前任地など

▼教区〔4月23日着任〕
平野　勇師　引退（鹿子前主任）
濱﨑　靖彦師　引退（神崎主任）
小瀬良　明師　神崎主任（稲佐主任）
村川　昌彦師　時津主任（八幡町主任）
岩村　知彦師　桐主任（飽の浦主任）
烏山　邦夫師　八幡町主任（馬込主任）
山脇　守師　中町主任、長崎南地区長（滑石主任、長崎北地区長）
山田　聡師　稲佐主任（大山協力司祭）
中村　満師　田平主任（福江・浜脇・井持浦主任、下五島地区長）
川内　和則師　平戸主任、平戸地区長（鯛之浦主任）
久志利津男師　鹿子前主任（浦上主任、長崎中地区長）
眞浦　健吾師　褥崎主任（青方主任・丸尾主任兼務、上五島地区長）
中濱　敬司師　鯛之浦主任（教区本部事務局長）
葛嶋　秀信師　教区本部事務局長（中町主任、長崎南地区長）
中濱　繁喜師　青方主任・丸尾主任兼務、上五島地区長（西木場主任）
山村　憲一師　浦上主任、長崎中地区長（平戸主任、平戸地区長）
中田　輝次師　福江・浜脇・井持浦主任、下五島地区長（田平主任）
大水　文隆師　教区本部事務局次長・大浦主任兼務
川原　拓也師　滑石主任、長崎北地区長（桐主任）
松田　聡史師　大曽主任（長崎カトリック神学院院長）
山田　良秋師　水主町主任（三ツ山主任）
川口　昭人師　俵町主任（時津主任）
岡　秋美師　飽の浦主任（大曽主任）
竹谷　誠師　三ツ山主任
山口竜太郎師　長崎カトリック神学院院長（同副院長）
汐留　義和師　西木場主任（浜串主任）
谷脇誠一郎師　馬込主任（俵町主任）
大水　満師　浜串主任（褥崎主任）
ナム・シジン師　長崎カトリック神学院副院長（滑石助任）

▼派遣〔4月2日着任〕
下窄　英知師　大分教区・鶴崎主任（大分教区・光の園）

▼韓国殉教福者聖職修道会〔4月23日着任〕
カン・デフン師　滑石助任（中町協力司祭）

▼聖アウグスチノ修道会〔4月10日着任〕
遠山　満師　城山主任（福岡教区・笹丘主任）
平野　哲也師　休養・研修（城山主任）
チャーリー・バヌエボ・ポムセノ師　名古屋教区・港教会（城山助任）

▼フランシスコ会〔4月16日着任〕
村上　芳隆師　本原主任（東京聖ヨゼフ修道院）
クラウディオ・ジャネシン師　札幌フランシスコ修道院（本原主任）

▼神言修道会〔4月〕
ヨセフ・ブルーノ・ダシオン師　西町主任（名古屋 南山高等学校・中学校校長）
大川　好洋師　西町助任（名古屋教区・長浦小教区管理者）
スタニスワヴ・ポウォムスキ師　名古屋教区・多治見主任（西町主任）
ジョナサン・レイ・ビリアコルタ師　名古屋教区・南山助任（西町助任）

引退の神父様方に感謝

両師の健康を祈りながら、司牧者としてのこれまでのご活躍に感謝の意を表したい。

ペトロ 平野 勇師

1937年4月12日長崎市生まれ。黒崎教会出身。63年3月19日大浦天主堂で司祭叙階。同年4月飽の浦教会助任に着任。66年三浦町、68年中町の各教会で助任、70年上神崎、79年曽根、86年紐差、96年福江の各教会で主任を務めた。2002年浦上主任。09年から鹿子前教会で主任。

パウロ三木 濱﨑靖彦師

1940年5月10日平戸市生まれ。田平教会出身。68年3月19日大浦天主堂で司祭叙階。同年紐差教会助任、71年小値賀主任、72年浦上助任。74年高島、77年土井ノ浦、86年西木場、95年奈留、97年飽の浦の各教会で主任を務めた。2005年青方主任・大曽主任兼務。11年から神崎主任。

ヨゼフ 下村徹神父 帰天

2月16日午後6時20分、老衰のため入所先の恵の丘長崎原爆ホームで逝去。87歳。

1935年12月26日大阪市生まれ。三ツ山教会出身。62年3月19日大浦天主堂で司祭叙階。同年4月紐差教会助任、63年稲佐助任。64年貝津主任。69年糸永真一司教の要請により鹿児島教区に移籍、鴨池助任。70年4月東京カトリック神学院、同年9月フィリピンEAPIで体験研修、71年鹿児島司教館（教区書記長）、73年奄美市・知名瀬主任。また、幼稚園園長と全国モンテッソーリ学会の理事を兼務しながら79年鴨池、88年垂水、94年吉野の各教会で主任。2003年4月病気治療のため鹿児島司教館付、同年9月長崎市へ転地療養。05年11月長崎教区に移籍。

通夜は2月17日浦上教会信徒会館、葬儀ミサ・告別式は18日同聖堂で中村倫明大司教の司式により行われた。

通夜では髙見三明名誉大司教が説教し、下村師が上五島におけるキリシタン復活の端緒となった、桐出身のガスパル与作（後の下村鐵之助）の子孫にあたることを紹介した。叙階後長崎で7年間働いた後、里脇浅次郎大司教（当時）と入れ替わりに鹿児島教区長となった糸永司教に協力者として召され、鹿児島教区司祭として働いた。晩年、病気のため、長崎での転地療養を行っていたが、復帰が難しく長崎教区へ戻った。ある意味で、波瀾万丈な人生、お疲れ様でしたと安息を願った。

葬儀では73年前に神学校で出会ったという平野勇師が説教を務めた。糸永司教と共に宣教にすべてをささげたいという情熱は揺るぎないもので、その宣教の精神は、下村家の血がそうさせているように感じられたと語った。

戦時中に家族で三ツ山に疎開し、神学生の頃まで同地で過ごした。

会葬御礼

カトリック長崎大司教区司祭ヨゼフ下村徹神父の逝去につきましては早速、ご丁重なる弔問・弔電ならびにご香典を賜り、葬儀の際にはご会葬・献花の弔意に接しましたうえ、各教会・修道院で故人のためにお祈りいただき、誠にありがたく厚く御礼申し上げます。

一々拝眉のうえ御礼申し上げるべきところ、紙上をもって代えさせていただきます。

二〇二三年二月
カトリック長崎大司教区
大司教　中村 倫明

カトリック長崎大司教区 生涯養成委員会主催　2023年度　聖書講座のご案内

オンラインでも受講可 Zoom

今年度も、カトリックセンターでの受講に加え、オンライン対応の講座を開催してまいりたいと思います。2023年度前期の聖書講座は「マルコによる福音書」を読みます。平和を祈りつつ、み言葉に耳を傾けましょう。多数のご参加をお待ちしています。

また、講座の開催時間について若干の変更がございます。第1・第3土曜日午前10時半から11時半の講座時間となりますのでお間違いのないようよろしくお願いいたします。

生涯養成委員会　山添克明

◆場　所　カトリックセンター２階講堂
◆受講料　5,000円（全10回分）　＊聴講可能（1回1,000円）
◆申込先　カトリック長崎大司教区 生涯養成委員会
Fax 095-841-7732　✉ cnsy.kouza@gmail.com
※お問い合わせのみ電話で受け付けます。Tel 095-841-7731

講座申し込みは↑こちらからも可能です

申込期限　2023年4月26日（水）※オンライン受講は随時受け付けます。
カトリックセンターで受講希望または初回の講座受講の場合は期限を厳守してください。

2023年度後期（10月～2月）『カトリック講座』のご案内は7月頃を予定しています。

第1・第3土曜日　午前10時30分～11時30分
テーマ：マルコによる福音書　テキスト：聖書

	月　日	講　師	内　容
第1回	5月 6日	キム・ドンウク師	マルコ福音書概論
第2回	5月20日	宮原大地師	「召された漁師たち」 1章
第3回	6月 3日	野濱達也師	「イエスの呼びかけ」 2～3章
第4回	6月17日	ナム・シジン師	「一粒のからしだね」 4～5章
第5回	7月 1日	川口昭人師	「五つのパンと二匹の魚」 6～7章
第6回	7月15日	硲 恵介 師	「あなたはメシアです」 8～9章
第7回	8月 5日	山添克明師	「子どものように」 10～11章
第8回	8月19日	大水 満 師	「やもめのように」 12章
第9回	9月 2日	竹谷 誠 師	「目を覚ましていなさい」 13～14章
第10回	9月16日	山内啓輔師	「派遣」 15～16章　まとめ

聖霊の7つの賜物いただく

平戸・長崎北・佐世保地区で堅信式

平戸地区

平戸地区では2月19日（日）紐差教会に集まって午後2時から地区の受堅者に神崎と褥崎の両教会が加わり、中学生28人、大人3人の合計31人が堅信の秘跡を受けた。

堅信を授ける中村倫明大司教は朗読された福音の中から、「右手で頬を打つなら通常『左』の頬からになる。『右』の頬から打ったのは最も軽蔑を込めた打ち方になる。イエスはその辱めにも勇敢に向き合うことを求めています。堅信の秘跡で注がれる聖霊の7つの賜物を通して、イエスの招きに勇気を持って応じてほしい」と励ました。また参列者には、常に「司祭・修道者になりませんか」の声かけをお願いしますと要望も付け加えた。

長崎北地区

2月26日（日）四旬節第1主日、長崎北地区合同堅信式が中村倫明大司教の司式により黒崎教会で行われた。堅信の秘跡を受けたのは、3小教区の中学生12人、大人1人の計13人（滑石7、黒崎3、時津3）で、参加者の皆でミサをささげ、喜びを分かち合った。

大司教はミサの説教の中で、コンビニのチラシを持って、ウェルカム無料クーポン券の話から神からいただく無料の賜物について話し、感謝式の中では叙階の秘跡の大事さと、長崎教区が司祭・修道者の召命に恵まれるよう説いた。教会共同体は、典礼、お祝いなど盛大に行われた堅信式の恵みを皆で分かち合った。

佐世保地区

佐世保地区では3月5日（日）四旬節第2主日、合同堅信式が2カ所で行われた。午前9時半から神崎教会で同教会と褥崎教会の計17人が、午後1時半からは佐々教会で佐世保地区の42人（黒島、太田尾の2小教区は今年受堅者無し）と平戸口教会1人の計43人が堅信の秘跡を受けた。

中村倫明大司教は当日の福音書から「人は愛されている時、また、愛する時、輝きを発するもの。皆さんは神様から愛され生まれただけでなく、愛することで輝きを発するよう召されている」と受堅者たちを励まし、聖霊のご降臨を祈った。（写真は当日の午後、佐々教会での式の様子）

「子どもと女性の人権相談室」

本年から再開

毎年四旬節第2金曜日は、日本の教会における「性虐待被害者のための祈りと償いの日」。今年は3月10日(金)だったが、この日を迎えるにあたり中村倫明大司教は、2020年から一時閉鎖としていた「子どもと女性の人権相談室」を本年から再開するとし、教区内に伝えた（3月9日付）。

けがれなき聖母の騎士 聖フランシスコ修道女会

新会長 決まる

2月2日（木）本部修道院（諫早市）で中村倫明大司教立ち会いのもと選挙が行われ、第2代会長の西村和子修道女に代わり、岡 立子修道女が新会長に就任した。

感謝

―寄付―

長崎大司教区
- 牧山スミ子様
- 川口義則様

―香典返し―

長崎大司教区
- 宮原良治司教様
  故マリア宮原リヨ子様

長崎カトリック神学院
- 竹内小夜子様（八幡町）
  故ラウレンチオ竹内忠正様
- 山崎三子様（浦上）
  故ベルナルド山崎好安様

右の方々からご寄付・ご芳志を賜りました。お礼とご報告を申し上げます。

お知らせ

〈一菜募金の支援状況〉

2月6日、トルコ南東部とシリアで大地震が発生した。長崎教区はカリタスジャパンの「トルコ南東部地震救援募金」受付開始を受け、一菜募金から500万円を送金した（2月21日）。

「キリストの平和」テーマに

大司教館で高校生黙想会

2月23日（木）、教区青少年委員会主催による高校生の黙想会が大司教館で開催された。上五島地区からもリモートで参加し、大司教館には13人、青方教会には32人が集まった。テーマは「キリストの平和」。

中村倫明大司教は自身の大司教着座の翌日である2022年2月24日にロシアによるウクライナ侵攻が始まったことに触れ、「私の回心の時と感じた」と当時の心境を明かされた。「私の方から平和をつくっていくこと。そのためにはまず友だちをつくっていくことが大事」。そのために「イエス様のゆるしの心にならうことから始めよう」と高校生たちを励まされた。

委員の講話ではウクライナから日本に避難してきた高校生、ズラータ・イヴァシコワさんのことが紹介され、また2020年に列福された福者カルロ・アクティスの生涯を共にたどり、キリストと一つに結ばれて愛に生きることの喜びを分かち合い、平和の担い手となることを決意して黙想会を終了した。

教区青少年委員会　本田 靖彦

カ障連の発足と長崎大会に向けて

障害者から私たちの信仰のあるべき姿を探し求めて！ ⑨

「カ障連」…カトリック障害者連絡協議会

教区福音化推進部　紙﨑 新一

カ障連長崎大会まであと半年

カ障連長崎大会の準備も大詰めです。今年10月14日（土）～15日（日）の2日間、障害者のためならと純心聖母会が快く純心大学のキャンパス全域を貸してくださり、「ともに…*つんのうで」をテーマに、基調講演では元熊本学園大学教授で弁護士の東 俊裕氏に「誰ひとり取り残さない社会『インクルーシブ防災』」についてお話しいただきます。

東日本大震災からの12年、各地で大災害が頻発し、「いつ、どこで起きてもおかしくない」が防災の合言葉のようになった昨今、防災の準備は生活の絶対必要条件となりました。しかし、防災グッズは備えても、命を守る準備は万全ですか。そんな中、誰ひとり取り残さないインクルーシブ防災は、一人ひとりの命を守ることが最優先であることから、多くの自治体で関心が寄せられています。

「私は大丈夫」かもしれませんが、高齢者、障害者は。水害では、開き戸は水深30㎝から開放が困難になるといわれています。水かさがある中で歩行することを考えると、あなたの近くに助けを必要とする人がどれほど多くいることでしょうか。

お告げのマリア修道会は、県内に多くの支部があり、各教会の歩行困難な高齢者や障害者の把握に協力を頂いています。聖母の騎士修道女会では、みさかえの園での障害者との関わりから、個人情報は守った上でのさまざまな事例の情報を提供していただき、災害時の対応に役立てるようにしています。純心、お告げ、聖母の騎士の三つの女子修道会は、長崎で発足した修道会として活動していますが、2014年「みつあみ（三つ編み）の会」として結束を誓い、分かち合いながら活動を展開するようになりました。カリタス会や聖フランシスコ会は、医療関係で協力を頂けます。これらの女子修道会が〝つんのうで〟誰ひとり取り残さない命の活動に協力していただけることは、今後の長崎教区にとって力強いものになります。

大会はテーマを深めるために分科会を用意しています。「誰ひとり取り残さないインクルーシブ」をキーワードに10以上を用意しています。例えば、防災グッズの説明やインクルーシブ防災の避難訓練をやってみたり、超高齢社会を迎える日本で歩行が困難な人も教会や社会の一員であることを、ITやAI技術を実演しながら時代を先読みしたり致します。

大会まであと半年、老若男女「ともに…つんのうで」準備しましょう。

＊つんのうで…方言で「みんなで一緒に」の意味。

2023年10月14、15日にカ障連長崎大会が開かれます。大会の準備に携わるカ障連長崎支部への参加はどなたでも可能です。皆様の参加をお待ちしております。

カトリック障害者連絡協議会長崎支部
〒852-8113 長崎市上野町10-34
TEL 070-8569-0522　FAX 095-807-4910
ksrnagasaki@gmail.com
個人情報は門外不出を遵守いたします

ルフィナ

宇田キミエ修道女

（純心聖母会）

2月11日逝去。93歳。

1929年五島市岐宿町生まれ。終戦直後、志願生として入会。50年4月大村の修練院に入所し、11月家野町へ移転。校舎2階の一隅が修練院で幼稚園と学校の机を寝台にして休んだ。学園のために昼間はペンキ塗り、工事の方と共に胴突き、教室の床のろう磨きなど精いっぱいの奉仕に専念した。53年から学園や幼稚園の受付、56年からは鹿児島・名古屋・長崎の学園の調理場で奉仕に努めた。口数は少なかったが、お茶目なところがあり、皆に親しまれた。90年からは院内で、事業所で働く会員をおいしい食事と温かい心遣いで支えた。2008年療養のためロザリオの聖母修道院へ。昨年末に聖フランシスコ病院に入院し、治療を受けていた。

カリス通信 4月号
教会学校・その他行事傷害見舞金制度のご紹介

教会では教会学校、聖書の勉強、聖歌の練習、遠足、バザー、キャンプ、お泊り会、クリスマス会などの行事が行われます。カリスでは、教会行事に参加される司祭、リーダー、父母、生徒などが行事参加中や、活動場所と自宅との往復途上に被ったケガを補償する「教会学校・その他行事傷害見舞金制度」を提供しております。加入タイプによって、参加者が起こした偶然な事故による損害賠償の補償もご用意しております。

＜主な事故の例＞
・イベントを手伝った信徒が転倒して肘を骨折した。
・教会学校参加中の小学生が転倒して歯が折れた。

＜行事に対する掛金、補償内容＞
①日帰り行事（熱中症も対象です）
日帰りの行事では1名あたり掛金10円のタイプと、70円（賠償責任補償付）の2タイプがございます。
②宿泊行事（C～Hタイプの場合）
宿泊日数に応じて、1名あたり掛金90円～190円の6タイプがございます。
加入者は小教区、修道院などです。

本制度には、毎年500近くの教会学校や各種行事にご加入いただいております。制度は毎年6月1日開始ですが、それ以降も行事ごとにご加入いただけます。

※本ご案内は「カトリック教会学校・その他行事傷害見舞金制度」の概要についてご紹介したものです。ご契約にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。

カトリック共済システム 有限会社カリス　〒135-8585 東京都江東区潮見2-10-10 日本カトリック会館
連絡先 0120-77-0033
カトリック共済システム 検索
2023年2月作成 22TC-102257
引受保険会社：東京海上日動火災保険株式会社
リスク・補償に関してお気軽にお問い合わせください

タンスの中身は入れたまま
責任ある安全運送!!
（見積り無料・荷造り発送も致します）
貨物保険有り
・一般引越　・小荷物
・荒ゴミ捨て　・遠距離
・学生引越
24時間営業・年中無休
受付時間 7：00～22：00
水浦運送
シモン　水浦 幹雄
長崎市上野町12－3
TEL(095)㈹847－7151
携帯 090－7923－9005

ハマチ・タイ養殖、アジ・イワシ加工、中型旋網
エテルナ・ワコー(株)
代表取締役　ドミニコ　溝口悦雄
〒858－0926　佐世保市大潟町586
TEL(0956)47－4380